

# 【YMO世界進出の原点となる物語】村井邦彦著『モンパルナス1934』 4/30 刊行！

細野晴臣「この出会いなくして、YMOの成功はなかった」

アルファレコード創立者の村井邦彦と日本経済新聞編集委員の吉田俊宏が共同で執筆し、総合カルチャーサイト『リアルサウンド』にて連載した小説『モンパルナス1934』が、2023年4月30日に株式会社blueprintより刊行される。



「この出会いなくして、YMOの成功はなかった。  
キャンティは日本のカルチャーの核心だった」

**細野晴臣**

YMO世界進出の物語は、1930年代のParisから始まった——  
「キャンティ」の創業者・川添浩史の歩みを辿る  
ヒストリカル・フィクション。 blueprint

『モンパルナス1934』は国際文化交流プロデューサーとして活躍した川添浩史（紫郎、1913～70）の半生を描いたヒストリカル・フィクションだ。川添は文化人が集ったサロンとして知られるレストラン「キャンティ」（東京・飯倉片町）の創業者でもある。村井と吉田は多くの資料と関係者の証言に基づき、大胆な創作を交えて壮大な物語を書き上げた。

川添がパリのモンパルナスを拠点に活躍し始める1934年から、アヅマカブキ（日本舞踊）の一座を率いて欧米各地を回る中で梶子と出会って恋に落ち、夫婦でキャンティを開業するまでを描いている。さらに川添の没後にアルファからデビューしたイエロー・マジック・オーケストラ（YMO）の世界進出は、川添の薫陶を受けた村井がアヅマカブキの欧米ツアーをモデルにしていたという事実もドラマチックに明かされ、日本のポップカルチャーの源流を知るうえでも貴重な読み物になっている。

本書にはパリで川添と親交のあったロバート・キャパ（写真家）、岡本太郎（芸術家）、坂倉準三（建築家）、原智恵子（ピアニスト、川添の最初の妻）、諏訪根自子（バイオリニスト）をはじめ、ジャン・コクトー（詩人）、ポール・ヴァレリー（詩人）、オーギュスト・ペレ（建築家）、ジャンゴ・ラインハルト（ギタリスト）、ゲルダ・タロー（写真家）、藤田嗣治（画家）、仲小路彰（歴史哲学者）、三浦環（ソプラノ歌手）、吾妻徳穂（日本舞踊家）ほか、国内外の著名人が多数登場する。

川添の足跡を追うだけでなく、パリやカンヌの街並み、フランスの食文化が詳細に描かれるほか、歴史、音楽、美術、

建築、舞踊、文学、映画、哲学、思想など様々な分野の話題をちりばめ、ミステリーや恋愛小説の要素まで盛り込んだ意欲作だ。

YMOの細野晴臣は、帯に「この出会いなくして、YMOの成功はなかった。キャンティは日本のカルチャーの核心だった」とコメントを寄せている。

#### ■書籍詳細

タイトル：『モンパルナス1934』

村井邦彦 吉田俊宏 著

発売日：2023年4月30日予定

※発売日は地域によって異なる場合がございます。

価格：3,080円（税込価格／本体2,800円）

出版社：株式会社blueprint

判型／頁数：四六判ハードカバー／384頁

ISBN：978-4-909852-38-0

Amazonリンク：<https://www.amazon.co.jp/dp/4909852387>

blueprint bookstore：<https://blueprintbookstore.com/items/64366f9e427a88002f502e94>

---

株式会社blueprintのプレスリリース一覧

[https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company\\_id/120304](https://prtimes.jp/main/html/searchrlp/company_id/120304)

---

本書に関するお問い合わせは

株式会社blueprint 松田までお願いいたします。

TEL：03-6452-5160 FAX：03-6452-5162

matsuta@blueprint.co.jp